

平成 26 年度 中野区立図書館 利用者懇談会報告

1. 開催日時及び会場

会場館	開催日時	
中央	3月7日(土)	14:00~15:00
本町	3月9日(月)	14:00~15:00
野方	3月12日(木)	11:00~12:00
南台	3月11日(水)	10:00~10:50
鷺宮	3月8日(日)	14:00~15:00
東中野	3月10日(火)	11:00~12:00
江古田	3月12日(木)	14:00~15:00
上高田	3月10日(火)	11:00~12:00

2. 出席者

職員：館長、副館長、業務副責任者、リーダー（地域館）、サブリーダー（地域館）、司会、書記

参加者：中央 5名、本町 4名、野方 3名、南台 3名、鷺宮 1名、東中野 1名、江古田 3名、上高田 3名

3. 式次第

- (1) 開会挨拶
- (2) 職員紹介
- (3) 館長挨拶
- (4) 今年度実施事業報告及び来年度実施予定事業紹介（資料1：「事業報告書—平成26年度（2014年度）版—」）
- (5) アンケート結果報告（資料2：平成26年度図書館サービスにおけるアンケート結果）
- (6) 質疑応答
- (7) 閉会挨拶

4. 懇談内容（質疑応答一覧）

館名	No.	質問及びご意見	回答 ※()内はその後の対応
中央	1	昔話を語る際、「日本昔話通観」(小澤俊夫編)を原典としてあたることが多い。重要な資料であるにもかかわらず欠本が見受けられるので、補充してほしい。	同シリーズの欠本については、調査の上、補充を検討いたします。(絶版により入手困難であったため、類書[今年刊行された「新版 日本の民話」シリーズ]を揃えることにより、補充に代えさせていただきました。)
	2	利用者懇談会の開催を広く知らせてほしい。また、一問一答形式で結果を詳しく公表してほしい。	昨年度は周知期間を2週間としていましたが、ご意見を受けて今年度は1か月間とし、全館での館内掲示及び図書館ホームページへの掲載を行いました。周知方法については、引き続き検討していきます。 結果については、利用者アンケートと同様、図書館ホームページ掲載及び館内閲覧に供しています。利用者の皆様からお寄せいただいた全てのご意見と、それに対する回答を掲載していますので、ご参照ください。
	3	リライトカードに書名が印字されるようになり、とても便利になったが、切り替え前に、孫が借りた本が手元で行方不明になり、書名も分からず探すのに手間取ったことがあった。窓口で「何月何日に貸したものだから、ちょっと思い出してごらん」などと言ってくれたらよかったのだが。	こちらの対応が至らず申し訳ありませんでした。お子さんの場合、時間が経つと何を借りたか、返していないのか分からなくなることもあり、我々もそれを念頭に置いて対応するようにしていますが、子どもたちがより図書館を使いやすくなるような対応について検討していきたいと思います。
	4	最近、オレンジ色の図書袋が発行されていないが、子どもたちが図書館の本を管理するのにとても便利であるため、もし予算があればご検討いただきたい。	かよい袋は、広告掲載物品として寄贈いただいたものを配布するもので、現在は寄贈がないためお配りしていませんが、スポンサー制度、バナー広告と同様に大切な取り組みであるため、改めて検討していきたいと思います。

館名	No.	質問及びご意見	回答 ※()内はその後の対応
中央	5	「なかの いーぶつく すぽっと」への区民からの要望はどのくらいあったのか？他の必要なところに予算を割いた方がいいのではないか。個人的には、児童書をあのような形で読むことにあまり価値を見出せない。	<p>近年、スマートフォンやタブレット端末の普及により、以前より電子図書に触れる機会が増えてきています。図書資料の提供という図書館本来の役割は忘れてはなりません、電子図書が世の中に普及し始めていることを鑑み、それに触れる機会を提供していきたいという考えの元にサービスを開始しました。主に児童を対象とし、全部で約 600 タイトルあります。実際にご利用いただいた方からは、非常にご好評いただいています。</p> <p>代表企業を務める株式会社ヴィアックスの事業として、中野区立図書館で実施させていただいており、費用については指定管理料からの支出ではないため、その点をご理解いただければ幸いです。</p> <p>現在、小学校を含めて ICT 教育が行われており、同様に図書館という場を通じて行っていきたいと考えています。電子図書という利用の形態についても環境を整備し、中野区立図書館をご利用の皆様提供していきたいと考えています。</p>
	6	障害者サービスと有料宅配サービスの利用件数が知りたい。また、障害者サービスでは職員が無料で資料を配達するようだが、図書館員が本来すべき仕事ではないのではないか。福祉として区で費用を負担し、有料宅配サービスと同様に宅配業者に配送を依頼すればよいのでは。	<p>障害者サービスは図書館を通じた福祉サービスであり、有料宅配サービスは一般利用者向けのサービスであるため、その目的が異なっており、障害者手帳をお持ちの方等に対しては、図書館職員が実際にご自宅へ赴いて資料をお届けするというサービスとさせていただいています。</p> <p>障害者サービスの利用実績としては、だいたい月に 4、5 回の利用があります。有料宅配サービスは、昨年度、年間 27 冊の利用がありました。</p>
	7	利用者懇談会に人を寄せるため、併せて閉架書庫見学等を行ってみてはどうだろうか。	ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
本町	1	皆さんの所属を教えてください。	館長以下全員、株式会社ヴィアックスという民間会社に所属しています。

館名	No.	質問及びご意見	回答 ※()内はその後の対応
本町	2	絵本講座を行った南中野児童館は本町から遠いが、近くで行わないのか。	エリアとしては南台図書館の方が近いかもしれませんが、近くの児童館にサービスを行っていないわけではありません。 絵本講座は出張先で利用登録や貸出が出来る反面、大掛かりなものになってしまうため、一年に一度しか実施できないという制約があります。 そのため、近くの児童館では出張おはなし会を実施しています。今年度は赤ちゃん向けの出張おはなし会として伺わせていただきました。また、紹介した本を児童館に置き、当日参加できなかった方にも見ていただけるようにしています。
	3	システムが変わったことで、貸出や登録は増えているのか。	まだ変わったばかりなのではっきりとしたことは申せませんが、貸出・予約件数は上昇傾向が見られます。
	4	アンケートの配布について、地域館では150枚配布で144枚回収とのことだったが、中央館は198枚の回収となっている。中央の配布は200枚くらいだったということか。	その通りです。
	5	職員への満足度が91%ということは、中央よりも高いということか。	若干ですが、数字の上ではそうなっているようです。
	6	先日、中央図書館の利用者懇談会に行った際、やよいの園のおはなし会について報告があった。担当は中央図書館ではないのか。	最初の一回は中央図書館と南台図書館の共同で行いましたが、来年度以降は本町図書館と南台図書館で行う予定です。
	7	アンケートについて、満足度が90%以上だったとのことだが、残りの不満がどこにあるか分かっているか。	サービスに関するご案内が不足しているのではないかと考えています。特にシステムプレイスに関するご説明が不十分であったことが要因ではないかと推測しています。それに関しては、スタッフ一同鋭意努力してまいります。

館名	No.	質問及びご意見	回答 ※()内はその後の対応
本町	8	読書でピンゴは予定との事だが、具体的にはどのようなかたちとなるのか。	実施は確定しており、具体的な様式や景品など細かい部分をこれから詰める予定です。対象は小学生以下としており、幼稚園の子どもたちにも参加してもらえたらと思っています。実施時期は4月後半から5月の予定です。これをきっかけに様々なジャンルの本を読んでもらいたいと考えています。
	9	話題の本に予約が殺到してなかなか回ってこない。提供予定を聞いて期待していたのに、それを過ぎて回ってこなかった。返却が遅れている人が多いのではないかと？期日を過ぎた人にペナルティをつけられないか。	返却が遅れている資料に関しては、メールや電話などで督促しています。 ペナルティに関しては、実施する場合は本町図書館だけでなく区立図書館全館で統一して行うべきことなので、ご意見として上げさせていただきます。 提供予定については、貸出は2週間ですが、取り置き期間が1週間あるため、実際には3週間かかることがあります。年末年始などの休みを挟んだ場合は、さらに予定がずれることもありますので、ご了承いただければ幸いです。
	10	人気のある本をもっとたくさん入れられないか。他区ではもっと買っている。	多くの利用が見込まれるものについては、選書規程に則り、可能な限り購入しています。
	11	新刊を毎日出すようにしたら、もっと利用が増えるのではないかと。	購入や受入のサイクルがあるため、土曜日のみとなっています。
	12	新刊はどうやって見分けているのか。東中野図書館では受け入れた月の書かれたシールが貼ってあるのでわかりやすい。	本町図書館では、今月の新刊、先月の新刊、それぞれに目印となる色分けされたシールが貼られています。
	13	アンケートを受けて蔵書を増やしたいと言っていたが、予算配分はどうなっているのか。	予算配分に大きな変更はありませんが、今年度から、蔵書補充のため各館より中央館へ購入希望を上げられるようになりました。そちらで利用者の皆様のニーズに応えられるようにしていきたいと考えています。

館名	No.	質問及びご意見	回答 ※()内はその後の対応
本町	1 4	労働環境について知りたい。先ほど利用者からの質問が減ったという話があったが、人がいなかったり、忙しそうだったりで声が掛けにくく、遠慮されているのではないか。通常、どのくらいの人で回しているのか。	平日の夜は3人、昼間の多い時間帯では5人が勤務しています。カウンターよりもフロアの方が声をかけやすいと思うので、出来るだけフロアに人員を配置するように心がけています。
	1 5	中央図書館の利用者懇談会で、障害者サービスの宅配はアウトリーチだと言われたが、大変ではないのか。本町図書館でも行っているのか。	本町図書館では、現在、1名の方が在宅配送サービスを利用されています。近隣でもあり、それほど大変なことはありません。なお、登録されている方はもう少しいます。
	1 6	昨年はパスファインダーの説明がなかったが、今年はその説明をあらかじめしてくれたのでよかった。	いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
	1 7	中央図書館の利用者懇談会では、利用者と距離があり、また、説明が長くて質問があまりできなかった。本町の方がアットホームで話しやすい。これからもそこを強みにして頑張ってもらいたい。	いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

館名	No.	質問及びご意見	回答 ※()内はその後の対応
本町	18	利用者懇談会開催の告知が足りない。他のイベントのようにチラシなどを配布すれば、参加が増えるのではないか。もしくは、何か特典を付けてはどうか。たとえば、中央図書館なら書庫を案内するなど。そもそも利用者懇談会という名称が堅い。もっと親しみやすい呼び名のほうが参加しやすいのではないか。	いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
	19	絵本講座の時のように、ブックトークなど学校に行った時に利用登録ができるようにしてはどうか。	いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
野方	質問及びご意見は特になし。		
南台	1	館の前に公園もあり環境は良いが、蚊が館内に入ってくる可能性が高いので、1階の雑誌コーナーに網戸を取り付けたことは良かった。ただ、トイレや2階にも蚊はいるので、そちらにも取り付けてほしい。	以前から網戸に関しては要望がありましたが、デング熱問題を受け、まずは優先順位の高い当館の雑誌コーナーから行われました。今後もより必要度の高いところから設置を検討していきます。
	2	トイレのドアを閉める際の音やノックの音が気になる。	扉にクローザーを付ける、消音テープを貼るなどの対策を行います。(懇談会后、クローザー及び消音テープにて対策を施しました。)ノックについては、あまり静かに行うと中にいる人に伝わらないこともありますので、ご理解いただければ幸いです。
	3	最新号の雑誌の表紙に「持出禁止」と貼ってあるため、表紙の特集内容が見づらい。表示が必要なのは理解できるが、何とかしてほしい。	何らかの対策を講じたいと思います。(一部の資料に関し、表示のサイズを小さくしました。)

館名	No.	質問及びご意見	回答 ※()内はその後の対応
南台	4	以前にも何度かカウンターなどで要望を伝えているが、その件は上まで届いているのか？	当館では、いただいた要望などを報告するための用紙を、毎日出勤者全員に配布しており、いただいたご意見は、館長まで目を通すようにしています。
	5	新システムになり、リライトカードは便利だと思っていたが、タイトルなどが長い場合に最後が省略されてしまい、似たような資料を複数借りている時には分かりにくいことがある。 また、返却した場合(特にブックポスト返却)はカードを機械に通さないと最新の表示にならないという不便な点もある。	ご意見として承らせていただきます。
	6	利用者の中には周りに迷惑をかける方もいる。公共の施設なので利用を制限することは難しいことは分かるし、対応に苦慮しているのもわかる。	ご理解をいただきありがとうございます。今後とも皆様が快適に過ごせるよう、心掛けてまいります。
	7	OPACの予約状況確認画面が見にくい。予約日と取置期間の表示の色が単調な色合いで、2行で表示されている。	ご意見として承り、システム担当者に報告の上、今後の参考とさせていただきます。

館名	No.	質問及びご意見	回答 ※()内はその後の対応
鷺宮	1	ぬいぐるみおとまり会とはどのような内容か。実施館、定員、対象者等についても教えてほしい。	<p>お子さんに、普段可愛がっているぬいぐるみを持ってきていただき、一晚図書館でお預かりします。「夜の間にぬいぐるみたちが図書館を探検してお気に入りの本を探す」という設定で、翌日以降迎えに来てもらった時に、そのぬいぐるみが夜の図書館を探検している写真とともに本も一緒に貸し出すというイベントです。</p> <p>子どもの想像力をはぐくむ楽しいイベントで、近年、話題のイベントとして様々な図書館で取り組まれていきます。定員に達した後に、参加できなかった方から「またやりますか？」という問い合わせもあり、皆さんにとっても楽しみにしていただいています。今年度から上高田図書館でも始めました。江古田図書館でも、この3月に開催します。</p> <p>定員は20名です。親御さんやご兄弟も一緒に参加されて、合わせて53名の参加がありました。4才から小学校2年生までを対象としており、やはり就学前のお子さんの参加が多かったですが、小学生も数人おりました。</p>
	2	鷺宮文庫を始めた経緯を教えてください。たしか対談もあったと思うが・・・	<p>鷺宮区民活動センターの指定事業で、「地域への関心を深めて地域の連携を促進する」という目的で鷺宮文化村研究会が昨年度から始まりました。鷺宮の文化、歴史、自然などを研究し、最終的に冊子としてまとめるという事業で、「冊子を展示する場所として鷺宮文庫をつくる」ということも項目の中にありました。</p> <p>一昨年4月、ちょうど鷺宮文化村研究会が発足した年に私どもが指定管理者となったのですが、区民活動センターの方から鷺宮文庫を図書館内に作ってもらえないかというお話があり、文庫創設につながりました。文化村研究会にも参加し、一緒に活動しています。図書館報『シイビブリア』vol.5では、鷺宮文化村研究会委員長の菊田守さんと対談しています。</p>

館名	No.	質問及びご意見	回答 ※()内はその後の対応
鷺宮	3	今後、鷺宮文庫に関連した講座などの開催予定はあるか。	今年度開催した講座は大変反響があり、普段来館している方だけでなく、今まで図書館に足を運ばれたことのない方にも来ていただきました。もともと鷺宮は「鷺宮の歴史をたどる会」等、地域の方の鷺宮への関心の高い所だと思いますが、そういう活動を今までされていなかった方にも講座にいらしていただけたので、続けて開催していきたいと思っています。
	4	古木鐵太郎展について、開催に至った経緯を教えてください。	古木鐵太郎氏のご遺族のお知り合いが鷺宮文化村研究会に参加しており、その伝手でご遺族より全集をご寄贈いただきました。読んでみると、多くの作品に鷺宮の風景が描かれていました。 同時期にアーカイブファイルの作業も進めており、昭和初期 30 年代ぐらいの写真を沢山整理していたものですから、古木鐵太郎氏の作品を読んでいると「あの写真の場所が描かれている」と頭の中で一致し、「これはぜひ皆さんに見ていただきたい」と思い企画しました。
	5	アーカイブファイルとは何か。	以前、駅前にあった鷺乃書房という書店が、30 年代の鷺宮の風景写真を大量にお持ちで、それを「ことぶきさぎのみや」というグループ（ことぶき大学卒業生）に委託されました。その写真を整理したものがアーカイブファイルです。他に中野区広報分野の所蔵している写真も収めました。 また、風景写真を集めている地域の方より写真をいただけるというお話や、鷺宮のお寺の福蔵院からもお借りできるというお話もあります。このようにまだまだ写真が眠っていますので、さらに増やしていきたいと考えています。

館名	No.	質問及びご意見	回答 ※()内はその後の対応
鷺宮	6	都立家政会館の出張事業とはどんなものか。来場者や反応についても教えてほしい。	<p>都立家政会館で行う出張図書館は、野方図書館と共同で開催しています。絵本など児童書を中心に何百冊か持参し、そこで貸出や登録、読み聞かせなどを行っています。</p> <p>通りかかった方が来てくださる形で、会場が少し奥まった場所に立地しているため、表通りでご案内はしているのですが、なかなか参加人数が集まらない状況ではあります。今年は商店街振興会の取り計らいにより、駅正面の街灯に立て看板を取り付けさせていただきました。その他、コンビニにポスターを貼っていただいたり、このような地道な努力で広めていきたいと思っています。</p>
	7	普段、苦情を述べる方は多いのか。資料が少ないということについての苦情はあるか。	<p>それほど多くはありませんが、やはり様々な考えの方がいらっしゃるので、ご意見をいただくこともあります。</p> <p>アンケートの自由意見欄には資料に関するご意見も見受けられますが、直接カウンターで受ける苦情にはほとんどありません。</p>
	8	新しいシステムに変わり、カウンターのところで年配の方達が画面での予約にとまどっているのをお見受けすることがあるので、利用者向けの検索ミニミニ講習などを実施してはどうか。	<p>苦戦しておられる方もいらっしゃるようですが、予想以上の方が挑戦してくださっています。今、銀行のATMもタッチパネルですので、OPACのタッチパネルや多少のキーボードも、年配の方でも慣れていらっしゃる方が多いようです。</p> <p>ただ、「ちょっと難しいわ。」と言えないでいたり、「もう予約はしないでいいわ。仕方ないわ。」と諦められてしまったりすることのないよう気をつけています。「リクエストカードでも大丈夫ですよ。」というお声掛けはしていますし、利用者の方ひとりひとりの様子をよく見て、ご不便をおかけしないようにと思っています。</p> <p>中央図書館では情報検索講座を実施しており、地域館ではOPACの数が少ないので難しい面もあるかと思いますが、中央図書館と相談して検討したいと思います。</p>

館名	No.	質問及びご意見	回答 ※()内はその後の対応
鷺宮	9	在宅配送サービスの宅配回数が190回ということだが、これはいつのことか。これだけ利用があるということは、喜ばれているサービスということか。やはり高齢者の利用が多いのか。	平成25年度の年間実績です。当館の登録者はほとんどの方が2週間ごと、定期的に利用があり、宅配回数が大変多くなっています。皆様、とても楽しみにしていらっしゃる様子で、暑い時期や寒い時期に伺うとねぎらいの言葉をかけていただいたりしています。高齢の方、障害のある方が利用されています。
	10	有料宅配の利用状況はどうか。	当館には有料宅配の登録者はいらっしゃいません。
	11	有料宅配の登録者がいないということは、鷺宮図書館が駅から近くて非常に便利だからだろうか。	駅から近くて便利だということもあると思います。仕事帰りなどにも寄りやすいのではないのでしょうか。夜も8時まで開いており、土日も8時まで開いているので、おそらく生活の中で実際に足を運ぶことが可能なのだと思われます。
	12	アンケート結果によると、個性づくり事業について知らなかったという方も多いようだ。ターゲットとしている利用者層と実際の利用者がマッチしないと難しいところではあると思う。	当館のテーマが「子育て・教育」であり、ちょうど子育て教育世代のご家族がいらっしゃらないと、知っていても興味がないということにはなるかと思います。しかし、借りる方はよく利用されていて、このコーナーの本はよく回っています。 「すこやか福祉センター」にもパスファインダーを置かせていただけるようお願いしたいと思っており、そのような取り組みにより、新たな利用者を獲得したいと考えています。
	13	学校への団体貸出について、よく利用する学校、しない学校、違いはあるか。	学校によって様々ですが、当館担当の小学校はかなり熱心なところが多いと思います。
	14	学校との連携について伺いたい。研修や選書などを一緒に行うことはあるのか。	小・中学校図書館との合同研修会があり、児童担当の職員が出席させていただきました。また、「春、夏、冬のおすすめ本」は、中央図書館の児童担当と学校とでおすすめ本を決めています。

館名	No.	質問及びご意見	回答 ※()内はその後の対応
東中野	1	昨年11月に行った自主事業の「写真家・本橋成一講演会」の内容を教えてください。	東中野出身でポレポレ東中野のオーナーでもある本橋成一氏に、東中野の戦前、戦後の様子や、東中野での生き立ちなど、地域に根差したお話をさせていただきました。同時に、出版された写真集と一緒に展示しました。 参加者からは、「地元の講師の話はとても興味深く、こういった場を提供していただけて良かった」とご好評いただきました。
	2	中野区は新しいCDを購入しているのか。	CDの新規受入れは、利用者からの寄贈によるものが大半であり、わずかながら買い替えによる購入をしているのが現状です。
	3	昨年開催された自主事業のPRはどのようにしていたのか。	図書館ホームページへの掲載、館内や中野区のお知らせ板へのポスター掲示、カウンターでのチラシ配布などを行いました。
	4	古い歴史の本が少ないように思われる。	いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
江古田	1	システムリプレイスにおいて、利用者カードについてはどうなったのか。	リプレイスに伴い、2種類の新しい利用者カードに変更となりました。どちらかを選んでいただき、随時切り替えを行っています。 ① カード自体に利用状況が印字されるリライトカード ② PASMO、SuicaなどのICカードや、フェリカ機能を持つスマートフォン、携帯電話を利用者カードとして登録するもの
	2	他の施設と協力した広報は、具体的にどこで行ってきたのか。	近隣施設である江古田区民活動センター、沼袋区民活動センター、子ども・子育て世代と高齢者の施設である北部すこやか福祉センター、みずの塔ふれあいの家で行っています。また、江古田図書館の担当校である江古田小学校、緑野小学校、江原小学校、第七中学校にも案内を行っています。

館名	No.	質問及びご意見	回答 ※()内はその後の対応
上高田	1	図書館の近くに引越してきたので、家族で利用している。今年は家族でプラネタリウム(自主事業)に参加した。子ども対象のイベントが多いが、プラネタリウムは幅広い年齢層が参加していたので、上高田地区の地域コミュニティを担っていると感じた。来年も行ってほしい。	子ども向けの行事だけではなく、地域連携の事業も行っていこうと考えています。来年度も「のまりん紙芝居」「影絵の世界へ行こう」「プラネタリウム」など、子どもと一緒に参加し、大人の方にも喜んでもらえるようなイベントを企画していきます。
	2	図書館福袋には児童と一般の2種類あったと思うが、一般向けの福袋に貼付されたテーマにはどういった表記がされていたのか。	「火星に行ってみよう!」「空を見上げて」といった表記をしました。一般向けの福袋にはCD1枚と本2冊が入っており、「この本を読みながらCDを聴いてみましょう」という企画でした。人気企画で、見る見るうちに棚が空っぽになっていく状況でした。来年度も行いたいと考えています。
	3	来年度も様々なイベントを企画されているということだが、実施が決まっているものはあるか。	「影絵の世界へ行こう」と「のまりん紙芝居」は来年度も企画しています。図書館福袋も大変好評だったので、夏休みに児童向けの福袋に形を変えて計画しています。 イベントではありませんが、館内で様々な本を手にとっていただくきっかけとなるよう、コーナー展示を行っています。カウンター前には時代を映す資料を並べ、児童室には、昨日、児童作家の松谷みよ子さんが亡くなられたニュースを受け、追悼コーナーを作りました。話題を即展示へ反映させられるよう努めていきますので、ぜひご覧ください。

館名	No.	質問及びご意見	回答 ※()内はその後の対応
上高田	4	コーナー展示は、どのくらいの期間で展示を変えているのか。また、何か工夫している点はあるか。	<p>カウンター前の特集コーナーは、2、3ヶ月ごとにテーマを変えて展示を行っています。今は春なので「散歩に行こう!」、前回は「時代物を読む」という展示を行いました。</p> <p>カウンターには、「もう一冊手に取っていただけたら」と考え、図書館員おすすめの資料を置いています。貸出しの際、「これも借りられるのかしら」と手に取ってくださる方も多く、引き続き行っていきたいと考えています。</p> <p>階段下の展示ケースは、1ヶ月に1度、館内整理日に資料を替えています。来館された方が目に留めて、「展示ケースの本を借りたい」という声も多く、たくさんの方にご利用いただいています。随時、新しい本を追加しており、図書館員の腕の見せ所として切り紙や折り紙など飾り付けを行い工夫を凝らしています。</p>
	5	児童館や学童クラブからの来館者があるということだが、学校以外の地域連携など詳しく聞かせてほしい。	<p>上高田児童館が併設されているので、日常的に子どもや学童クラブの先生が資料を借りに来られます。学童クラブの子どもたちは、学校から児童館に駆け込み、そのまま児童室まで入ってくることも多いです。天気の悪い日や冬の寒い時期などは一日中いて、友達同士で本を楽しむ様子が見受けられます。</p> <p>新井薬師児童館は少し離れているので、主に職員の方が紙芝居などを借りに来られます。にじいろあいロード学童クラブとも同様な形で連携を行っています。</p>